

# Electone® **STAGEA**®

## ELS-01/01C バージョン 1.6 追加機能説明書

ELS-01/01Cでは、バージョン1.6までのバージョンアップにともない、いくつかの画面や操作が追加または変更されました。

この追加機能説明書では、バージョン1.6での画面を使用して、追加または変更された機能について説明します。欄外に「関連ページ」として、ELS-01/01C取扱説明書のページ番号を記載していますので、ELS-01/01C取扱説明書と合わせてご覧ください (ELS-01/01C取扱説明書ではバージョン1.0について説明しています)。

### 目次

ミュージックデータレコーダー (MDR) .....	2ページ
• プロテクトソングの移動 .....	2ページ
• プロテクトソングの詳細表示 .....	5ページ
• レジストレーションデータの個別読み込み .....	6ページ
リズムシーケンスプログラム .....	8ページ
• ネクストレジストのプログラム .....	8ページ
インターネットダイレクト接続機能 .....	10ページ
• 接続状態を確認する .....	10ページ
• 無線LAN接続の設定 .....	11ページ
• 購入(ダウンロード)したデータの保存先を指定する .....	11ページ



関連ページ

アイコン一覧 (102ページ)

### ソングアイコンの変更

ELS-01Cで作成されたソングのアイコンが、以下のように変更になりました。



ELS-01CまたはELS-01Xで作成されたソングであることを示します。

### プロテクトソング対応メディアについて

バージョン1.6以降では、プロテクトソングを、スマートメディアだけでなくUSBフラッシュメモリーにも保存できます。

下記の「プロテクトソングの移動」の操作で、スマートメディアに入っているプロテクトソングをUSBフラッシュメモリーに移動することも可能です。また、EL-900などのELシリーズの市販データをEL→ELS変換して、USBフラッシュメモリーに保存することもできます。

使用できるUSBフラッシュメモリーについては、インターネット上のヤマハエレクトーンホームページ<<http://electone.jp>>でご確認ください。



関連ページ

ソングコピー (121ページ)  
プロテクトソングについて (124ページ)

## プロテクトソングの移動

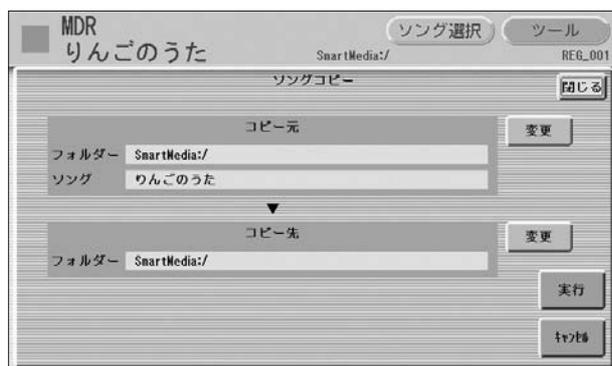
プロテクトソングを、別のフォルダーに移動したり、別のメディアに移動したりできます。プロテクトソングの移動には、[ソングコピー]ボタンを使用しますが、行なわれる操作はコピーではなく移動になります。

### プロテクトソング移動の一般的な手順:

同じメディア内でも、異なるメディア間でもプロテクトソングを移動できます。異なるメディア間で移動する場合は、移動したいソングが入っているメディアと、移動先となるメディアをあらかじめ挿入しておいてください。

- **1枚のスマートメディア内(または1つのUSBフラッシュメモリー内)で移動する場合**  
ソングの入ったスマートメディア(またはUSBフラッシュメモリー)を挿入します。
- **スマートメディア↔USBフラッシュメモリー間で移動する場合**  
スマートメディアと、USBフラッシュメモリーの両方を挿入します。
- **USBフラッシュメモリーから別のUSBフラッシュメモリーに移動する場合**  
移動したいソングが入っているUSBフラッシュメモリーと、移動先となるUSBフラッシュメモリーの両方をUSB TO DEVICE端子に挿入します。USB TO DEVICE端子が足りない場合は、セルフパワーのUSBハブをお使いください。
- **スマートメディアから別のスマートメディアに移動する場合**  
ソング移動の方法は、以下の手順とは異なります。本書4ページの「スマートメディアから別のスマートメディアに移動する場合」をご覧ください。

- 1 移動したいプロテクトソングを選びます。  
ソングの選択方法は、取扱説明書99ページをご覧ください。
- 2 画面右上の[ツール]ボタンを押して、ツールページを表示させます。
- 3 画面の[ソングコピー]ボタンを押します。  
ソングコピーの画面が表示されます。この画面で、プロテクトソングの移動先を指定します。



移動したいソングが[コピー元]に表示されていることを確認します。移動するソングを変更したい場合は、コピー元の[変更]ボタンを押して表示される画面で、ソングを選び直します。

- 4 画面のコピー先[変更]ボタンを押して表示される画面で、移動先のソングを選択します。
- 5 移動先の指定が終わったら、[実行]ボタンを押します。  
画面に確認を求めるメッセージが表示されます。[OK]を選ぶと、プロテクトソングの移動が実行されます。[キャンセル]を選ぶと、移動せずにもとの画面に戻ります。



移動中は、絶対に電源を切ったり、メディアを抜いたりしないでください。データが失われるおそれがあります。

プロテクト編集ソングは、同じフォルダー内にそのオリジナルがなければ再生できません。つまり、プロテクトオリジナルソングとプロテクト編集ソングは、常に同じ場所になくてはなりません。

この条件を満たすために、プロテクトオリジナルソングを別のメディア(または別のフォルダー)に移動したときには、自動的にプロテクト編集ソングも移動されるしくみになっています。同様に、プロテクト編集ソングを別のメディア(または別のフォルダー)に移動した場合も、プロテクトオリジナルソングもいっしょに移動されます。

## スマートメディアから別のスマートメディアに移動する場合:

- 1 3ページの手順1~3の操作を行ないます。
- 2 画面のコピー先[変更]ボタンを押します。  
ソングを選択する画面が表示されます。
- 3 画面の[フォルダー選択]ボタンを押して表示される画面で、「MEMORY」を選びます。



### NOTE

[MEMORY]ボタンが表示されない場合は、画面の[上に]ボタンを数回押しして[MEMORY]を表示させます。



- 4 [実行]ボタンを押してフォルダー選択画面を閉じ、ソングコピーの画面に戻ります。  
「コピー先」に「MEMORY:/」が表示されていることを確認します。
- 5 [実行]ボタンを押します。  
画面に確認を求めるメッセージが表示されます。[OK]を選ぶと、移動したいプロテクトソングが、エレクトーンの内部メモリーに移動します。画面には「移動元のメディアを抜いてください」というメッセージが表示されます。
- 6 移動元のメディアを抜きます。  
移動元のメディアを抜くと、画面には「移動先のメディアを挿入してください」というメッセージが表示されます。
- 7 移動先のメディアを挿入口に差し込みます。  
ソングコピー画面が表示されます。「コピー元」には、「MEMORY:/」(手順5で移動した内部メモリー)が表示されます。
- 8 画面のコピー先[変更]ボタンを押して表示される画面で、移動先のソングを指定します。  
何も入っていないソングを選んでください。すでにデータが入っているソングに上書きすることはできません。



移動中(手順5~9)は、絶対に電源を切らないでください。データが失われるおそれがあります。

## 9 移動先の指定が終わったら、[実行]ボタンを押します。

画面に確認を求めるメッセージが表示されます。[OK]を選ぶと、プロテクトソングの移動が実行されます。

[キャンセル]を選ぶと、移動を中止し、「移動中のソングを元の場所に戻します。メディアを抜いてください。」というメッセージが表示されます。手順5で内部メモリに移動したソングを、再び元のメディアに戻します。画面の指示に従って操作してください。

### データの大きいプロテクトソングを移動する場合

別のスマートメディアにプロテクトソングを移動する場合は、移動したいソングをエレクトーンの内部メモリ (MEMORY) にいったん移動したあとで、移動先のスマートメディアに移します。しかし、プロテクトソングの容量が大きい場合には、内部メモリに入りきれないことがあります。この場合は、何回かに分けてソングを移動することになり、手順6から9を繰り返す必要があります。画面の指示に従って操作してください。

## プロテクトソングの詳細表示

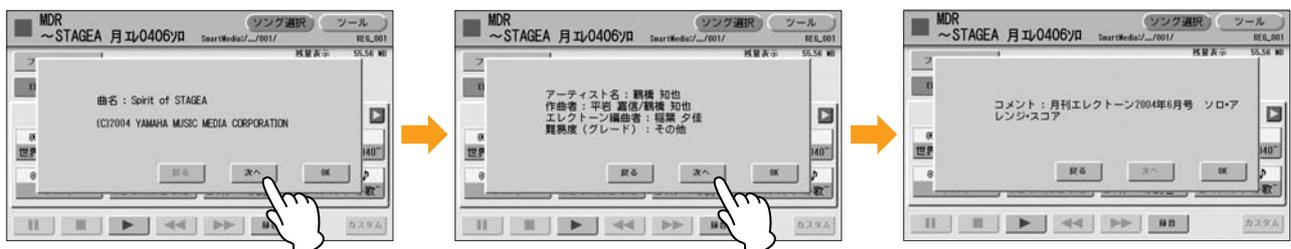
ELS-01/01C用の市販データについて、作曲者や編曲者などの情報を、エレクトーンの画面上で確認できます。この機能を使うときは、言語設定を[日本語]にしておいてください(取扱説明書17ページ)。

### 1 ソング選択画面で、情報を確認したいプロテクトソングを選びます。

プロテクトオリジナルソングを選んでください。プロテクト編集ソングを選んだ場合は、情報は表示されません。

### 2 手順1で選んだソングのボタンをもう一度押します。

画面上に曲名や作曲者名などの情報が表示されます。表示される内容は、ソングによって異なります。[次へ]ボタンを押すと、さらに情報を見ることができます。



### 3 [OK]ボタンを押して、情報表示を閉じます。



#### NOTE

EL-900などの市販データをEL→ELS変換したソングについては、情報は表示されません。



#### 関連ページ

ソングを選ぶ (99ページ)

## レジストレーションデータの個別読み込み



### 関連ページ

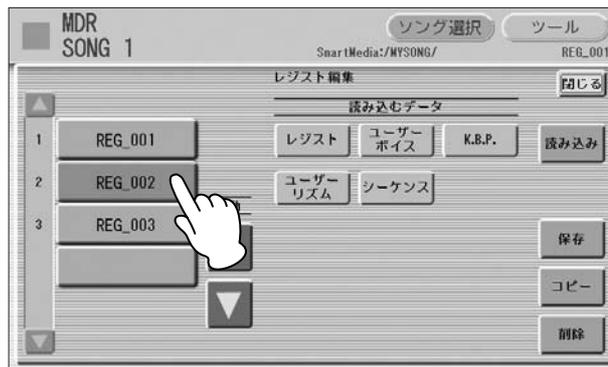
レジストレーションなどのデータを読み込む (114ページ)

MDRで保存できるレジストレーションデータには、以下の5つの情報が含まれています。

- **レジスト:** レジストレーション(レジストレーションメモリーに保存されている情報)
- **ユーザーボイス:** ユーザーボイス、VAカスタムボイス
- **K.B.P.:** キーボードパーカッション
- **ユーザーリズム:** ユーザーリズム
- **シーケンス:** リズムシーケンス

レジスト編集画面で、これらの5つのうち読み込みたいデータだけを選んで、個別にエレクトーンに読み込むことができます。

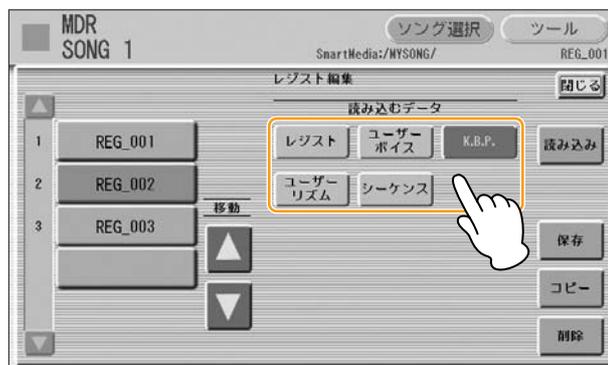
- 1 ソング選択画面で、レジストレーションを読み込みたいソングを選びます。
- 2 [レジスト編集]ボタンを押します。  
レジスト編集画面が表示されます。
- 3 読み込みたいレジストレーションを選択します。



### NOTE

ネクストレジスト機能を使ってレジストレーションデータを読み込む場合は、ここでの設定に関係なく、すべてのデータが読み込まれます。

- 4 読み込むデータの5つのボタンで、読み込みたいデータをオンにし、読み込みたくないデータをオフにします。



5 [読み込み]ボタンを押すと、手順4で選んだデータだけが読み込まれます。

6 画面右上の[閉じる]ボタンを押して、レジスト編集画面を閉じます。

プロテクトソングの選択中は、読み込むデータのボタンが使用できない場合があります(ボタンがグレースアウトされて、選べなくなります)。これは、プロテクトソングの著作権を保護するためです。たとえば、プロテクトソングの一部だけを別のソングに読み込んで別のソングとして保存することはできません。

# リズムシーケンスプログラム

## RHYTHM SEQUENCE PROGRAM

### ネクストレジストのプログラム



#### 関連ページ

ネクストレジスト (112ページ)  
レジストレーションシーケンス (178ページ)

レジストレーションシーケンスの中に、ネクストレジストをプログラムすることができます。レジストレーションシーケンスにネクストレジストのデータを入力しておくことで再生しているソングに入っている次のレジストレーションを自動的に読み込みます。ここでは、レジストレーションシーケンスの中にネクストレジストを入力する方法を説明します。



#### NOTE

リズムの再生中にレジストレーションを読み込むと、シーケンスデータやユーザーリズムは読み込まれません。

レジストレーションシーケンス画面



#### ① セット

カーソルの位置にあるレジストレーション(またはネクストレジスト)を、ネクストレジストに置き換える場合に使います。ネクストレジストの入力タイミングを変更したいときに便利です。次ページをご覧ください。

#### ② 挿入

ネクストレジストを入力する場合に使います。

### ネクストレジストを入力する



#### NOTE

画面上でネクストレジストのマークにカーソルを移動しても、ネクストレジストは実行されません(次のレジストレーションデータは読み込まれません)。

1 ネクストレジストを入力したいバー (小節)/ビート(拍)/クロックを設定します。  
▲ ▼ ボタンやデータコントロールダイヤルを使ってバー /ビート/クロックを設定します(1拍=96クロックです)。

2 画面のネクストレジスト[挿入]ボタンを押します。  
1で設定した位置にネクストレジストが入力され、小節/拍/クロックにそって画面上に表示されます。ネクストレジストは ■ マークで表示されます。

## 入力したネクストレジストを編集する

入力したネクストレジストのタイミングを変更したり、削除したりできます。

### ネクストレジストのタイミングを変更する:

- 1 ポジションボタンで、タイミングを変更したいネクストレジストにカーソル(オレンジ色表示)を移動させます。
- 2 バー / ビート / クロックを、変更したいタイミングに設定します。
- 3 画面のネクストレジスト[セット]ボタンを押します。  
ネクストレジストのタイミングが変更されます。画面上に表示されるレジストレーションまたはネクストレジストは、小節/拍/クロックにそって並びます。

### ネクストレジストを削除する:

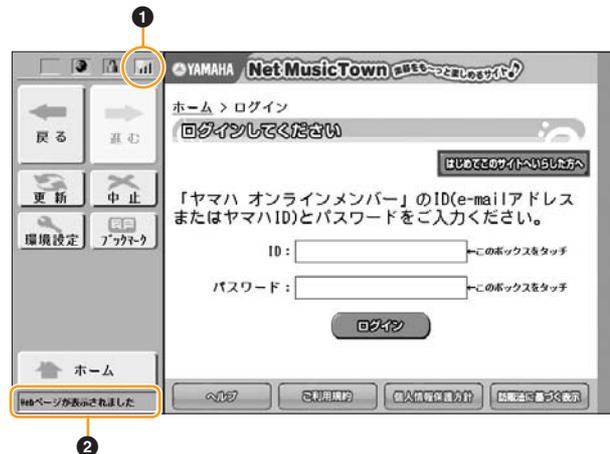
- 1 ポジションボタンを使って、削除したいネクストレジストにカーソル(オレンジ色表示)を移動させます。
- 2 画面のデータ[削除]ボタンを押します。

#### ネクストレジストの読み込み時間について

- ネクストレジストの読み込みには時間がかかることがあります(読み込むデータのサイズによって、読み込み時間は異なります)。読み込み時間がかかることを考慮して、早めのタイミング(バー / ビート / クロック)にネクストレジストを入力することをおすすめします。
- フロッピーディスク内のソングを再生する場合は、スマートメディア内のソングよりも読み込み時間が長くなります。
- ネクストレジストを実行する方法は2種類あります。フットスイッチを使用する方法と、レジストレーションシーケンス中にプログラムする方法です。どちらの場合も、ネクストレジストの読み込み時間は同じです。

### 接続状態を確認する

コントロールメニューに表示されるアイコンやメッセージで、無線LANの電波状態や、インターネットへの接続状態が確認できます。



#### ① 無線LANの電波表示

無線LANでインターネットに接続している場合に、電波の強さ(受信状態)が表示されます。電波が弱い(または届かない)ときは、エレクトーンをアクセスポイントの近くに移動し、電波が届く状態にしてください。

- : 強
- : 中
- : 弱 (インターネットに接続できない場合があります)
- : 圏外 (インターネットに接続できません)

#### ② ウェブページの読み込み状態表示

ウェブページの読み込み状態に応じて、以下の3つのメッセージが表示されます。

Webページを開いています…	ウェブページを読み込んでいる途中の状態であることを示します。
Webページが表示されました	ウェブページの読み込みが完了し、ウェブページが完全に表示されたことを示します。
ネットに接続されていません	インターネットに接続されていない状態(オフライン)であることを示します。

## 無線 LAN 接続の設定

環境設定画面の無線LANページに、エレクトーンの近くにあるアクセスポイントを一覧表示する機能が追加されました。この機能を使うと、SSIDやチャンネル、暗号化の設定などを自動的に入力し、無線LANの接続環境設定が容易になります。



### ① アクセスポイント

[表示する]ボタンを押すと、アクセスポイントの一覧が表示されます。

一覧の中から使用したいアクセスポイントを選んで[OK]を押すと、アクセスポイントの設定をエレクトーンに反映させるかどうか確認する画面が表示されます。[はい]を押すと、SSID、チャンネル、暗号化の設定が自動的に入力されます。



関連ページ

無線LANページ(202ページ)



NOTE

アクセスポイントから電波が届かない場合は、表示されません。



NOTE

WEP以外の暗号化形式で暗号化されたアクセスポイントは、使用できません。



NOTE

暗号キーは自動入力されません。暗号化されているアクセスポイントを使用する場合は、暗号キーをあとから入力する必要があります。

## 購入(ダウンロード)したデータの保存先を指定する

購入(ダウンロード)したデータは、スマートメディアまたはUSBフラッシュメモリーに保存できます。ウェブページ上でデータ購入の操作をすると、購入(ダウンロード)したデータをどこに保存するか選択する画面が表示されます。保存先フォルダーを選んで、[保存]ボタンを押すと、ダウンロードが実行されます。



NOTE

[保存]ボタンを押す前に[閉じる]ボタンを押して画面を閉じると、データがダウンロードされず、もとの画面(ウェブページ)にもどります。もう一度ウェブページ上でダウンロードの操作をすると、保存先を選択する画面が表示されます。

保存先フォルダーの選び方については、101ページ「メディアやフォルダーを変更するには」をご覧ください。

ダウンロードが完了すると、購入したソングのあるフォルダーを開くかどうか、確認を求めるメッセージが表示され、[はい]を選ぶと購入したソングを選択できます。[いいえ]を選ぶと、インターネット画面に戻ります。



関連ページ

メディアやフォルダーを変更するには(101ページ)  
購入(ダウンロード)後の操作(197ページ)

ヤマハ株式会社